

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童多機能型通所サービスとて

公表日 2025年3月26日

利用児童数

37

回収数

14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		4	よくケアしていただいているかと思いますが、先生方お忙しいそうで人手不足だろうなと思います。	今後は業務内容の見直し・改善を行い、求人も行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1		1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	2	6		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	2	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	2	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1				

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		7		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14					
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童多機能型通所サービスとして		公表日		2025年 3月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		児童が走れる広いスペースの確保が出来ている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1	利用児童の支援状況により人数の調整を行っている	日によりもう少し職員数の確保が必要な時もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		端から端まで極力の死角を無くし、見通しの確保がされた直線的な施設内構造になっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		清掃や整理整頓等、5S活動に日々取り組んでいる		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		カムダウンスペースの確保が出来ている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	日々のミーティングや月1の全体会議を行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年1回の保護者向け評価アンケート調査を行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	月1開催の全体会議を開催し、業務改善に繋がる取り組みを行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	相談支援員さん等に見学にきていただき、改善点など見直しする機会を作っている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部研修に加え、内部でも資質向上にかかる研修を定期的に行っている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	HP内へのプログラムの公表に加え、毎月おたよりを作成し、保護者様への配布を行っている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		6か月に1回の個別面談を行い、児童や保護者様のニーズの聞き取りや今後の支援計画を立てている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	児発管の作成する個別支援計画書を基にしながら直接支援にあたる職員との連携をとり、次回の支援計画への参考としている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	支援計画書を職員室内書庫に収め、どの職員も目を通せる環境を整えつつ、支援方法の共有を日々のミーティング等でしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		プログラム内容・立案・担当を日替わりの交代制で行っている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援記録日誌を日々の支援後に残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	保護者様を通して就学前情報を得ている	今後は幼稚園や保育所等との連携にも力を入れていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	0	該当児童なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		6か月に1回の個別面談を行うに加え、保護者様からのご要望によりいつでも相談を受ける環境を整えている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	2	イベント等の際に保護者様同士や兄弟同士の交流の機会を設けている	今後は保護者会の開催も検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		Instagramやブログ、公式LINEの活用・展開を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付き書庫の設置、個人情報の施設外への持ち出しの禁止を徹底している	

非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		令和6年度には実施できていなかったため、令和7年度に実施予定あり
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に緊急連絡先や既往歴などの詳細情報を聞き取り、緊急ファイルを作成している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		上記に同じ	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童多機能型通所サービスとて			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	14
○従業員評価実施期間	2025年 3月 1日		～	2025年 3月 25日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制・整備等について こどもの活動スペースが十分に確保されている。	生活空間では身体を動かしたり走るスペースに加え、大型遊具にて身体を動かすルールも学ぶ。静と動の区切りをつけつつ、ストレスを溜めないように配慮している。	静と動の場を設けつつ、動の場でもカームダウンスペースと活用できるように職員配置を十分に出来るよう、工夫していく。
2	適切な支援の提供について 事業所の活動プログラムが固定化しないように工夫している。	曜日別の基本プログラムに基づき、支援プログラム内容は順に職員が担当を持ち回り、支援リーダーとして活動策を考えてもらっている。	季節に応じたプログラムも追加していき、空き状況により固定利用日以外のご利用提案の声掛けもしていく。
3	保護者への説明等について 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	来所時の送迎車からの様子なども含めて連絡ノートに記入し、当日又は近日中に写真等も添えてメールで報告し共有している。発達状況やご相談に随時応えられるようにしている。	送迎スタッフからもより沢山の情報報告をするようにし、相談のしやすい間柄であるよう努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への説明等について 事業所で家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているかという点。	お仕事に就いていらっしゃる保護者様が多く、事業所の人員的に研修会を設けられる時間帯の調整がなかなか難しい。	小人数参加型の研修を兼ねた情報共有の会の開催から検討していきます。
2	保護者への説明等について 父母の会の活動の支援やきょうだい同士の交流や支援がされているかという点。	きょうだい利用されるところが増えてきたのもあり、事業所利用の有無で本児のきょうだい間状況や背景をお伺いする事を躊躇していたところがある。	支援計画面談の際にも、ご家庭での本児の様子のみならず、一緒に生活しているきょうだいの様子等もうかがっていく。
3	非常時等の対応について 事故等が発生した際に事業所から速やかな連絡や状況等について説明がされていると思うという点	緊急連絡時、複数の連絡先を確認しておらず保護者様おひとりのみではなかなか連絡がつかなかった。	可能な範囲での日中連絡のつく番号を複数伺い、リストファイルを作成しておく。